



# ユートリーだより

創刊号  
1995.1

財団法人八戸地域地場産業振興センター



(財)八戸地域地場産業振興センター

理事長

中里 信男

発刊にあたって

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は、当センターの運営につきまして、国、県及び八戸地域十三市町村、各商工団体並びに各産業界の皆様方には、格別なるご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

また、昨年の暮れに起きました三陸はるか沖地震により、被害を受けた皆様につきましては、謹んでお見舞い申し上げますとともに、当センターにおきましては、幸いにも僅かな被害で済みましたことを、ご報告させていただきます。

さて、当センターは、オープン以来2年を経過し、目下、地場産業振興・育成を目的とする事業を展開しているところであります。

このたび、地場産業振興育成事業の一環として、主に中小の地場企業を対象に情報誌「ユートリーだより」を発刊することになりました。

この情報誌では、当センターで行っている事業を紹介する他、地域内の市町村イベント、地場産業に関する話題を取り上げまして、当センターの皆様にとりましてできるだけ身近に感じられるような記事を提供できますよう関係者各位のご意見を頂戴しながら努力して参りたいと思っております。

今後とも、地場産業の振興・育成のために関係者各位のご協力をお願い申し上げます。



# 「八戸の魚」アンケートを実施

対象 都内目黒区三万世帯

平成六年度に、国・県の補助事業として八戸水産加工業協同組合連合会が実施する活性化事業を支援することとなり、その事業の一環として、都内目黒区三万世帯を対象とした「八戸の魚」アンケートを、昨年11月に実施した。

このアンケートは、八戸の水産加工品とイカの街八戸をどの程度知っているか、また、是非とも知ってほしいと思うPRを含め実施したもので、結果は今後水産加工品の製造・販売方法及び八戸をPRするための参考として活用できればと思っている。

アンケートは、新聞(朝日新聞)への折り込みにより配布したもので、八戸の代表的な水産加工品「いちご煮」「しめさば」「いか塩辛」の三品を中心に、10項目の質問に回答してもらった。

その集計結果は、次のとおりとなった。(アンケートの回答者は全員で326名で複数回答のため集計の回答者と回答数は一致しない。)

三品のうち、知っている商品は、食べたことのある商品は、については、「しめさば」「塩辛」が多く、また食べてみたい商品については、前の回答で一番少なかった「いち

ご煮」が全体の80%と一番人気となっており、販売拡大のためのキーワード商品になる可能性があらむと思われる。

次に、水産加工品で一番美味しかったもの、食卓によく上がる料理であるが、どちらも「うに」が最も多かった。確かに「うに」は一番美味しいとは思うものの、高価であることから食卓によく上がる料理に使えるとは思えないのではと感じられた。

次に、日常手頃買い求める水産加工品の値段は五百円、ギフト商品の手頃な値段は三千円が一番多くなっており、今後製品の販売価格の参考となる回答であった。

青森県に来たことがある人は全体の48・5%で、その時買ったお土産は、加工品が「いか塩辛」生ものが「帆立」乾物が「するめ」くだものが「りんご」等となっている。知名度と食べてみたい「塩辛」が好評であった。

八戸に旅行したい人は326名中309名(94・8%)となっており、おおよその人が来たいと思っているが「一度食べたが、また食べてみたい」と思わせる魅力ある製品作りを目指し、リピート客

を増やすことが今後の課題と思われる。

最後の質問である。いか水揚げ日本一を知っていたのは、青森県にきたことがある人とほとんど同数(約48%)となっている。また知っているいか料理は、「いかそう

## 新しい洋ナシの女王

### ゼネラルレクラークの

#### 消費拡大を目指す 南部町

新しい洋ナシ ゼネラル・レクラークの消費拡大を目指している南部町とJA南部町が去年十二月十三日午前十時から八戸市のユ-



トリ一階イベント広場で生果の試食、ワイン・ジュースの試飲会を開催した。

当日は一般来場者に試食、試飲

めん」が一番多かった。

総評としては、八戸を訪れて「また来たい、また食べてみたい」というリピート客、いわゆる八戸のファンを作るため、既にある加工品以外に、八戸ブランドを確立することが必要なのではないのか?

してもらい、アンケート調査も実施、協力してくれた方には抽選で記念品を贈った。そして午後二時から八階でワイン発表会を開催した。

南部町が特産品として売り出している洋ナシのゼネラル・レクラークはフランス生まれで、果汁が多くメロンのように糖度が高いのが特徴。発表会には農業関係機関、団体、酒類販売店、マスコミなど約六十人が招待された。主催者が「皆さんのお力添えで町、県の特産品に育てて行きたい」とあいさつした。グラスを傾けた招待客からは「甘くて口当りがいい」「女性でもおいしく飲める」の声がかかれ評判は上々であった。

七百二十ml入りで一本千五百円南部町ふるさと物産館や県内の酒店で売り出す。詳しいことはJA南部町(0179-23-3267)



# 特産品づくりと販路拡大の手法 ジャーナリスト足田文明氏の講演から

## ○大分県の一品一村運動の失敗

当初の成功は、大分でしか買えない原材料販売に徹したこと。その後、大量生産に変更したことにより生産者の利益が減り、商業者が儲かるようになった。

夕張メロンでは、卸売り業者ばかり儲かっている。

○昔からのものに付加価値をつけようとすれば全国皆同じ

大分県大山町で、九州でえのき茸を生産していないのに着眼して日本一の長野県で技術修得し県内で販売、次に九州、そして関西圏で販売するようになった。

## ○野辺地町JAの成功例

小かぶの販売量を伸ばしたいと



考えていた時に、農閑期の三カ月間を利用して農家の主婦が神田市場でアルバイト。

○どうしたら継続的に売れるか

①健康というようなキーワードに  
よりの絞る

②存在を知らせる（広告・顧客・  
試飲・試食のやり方をうまく）

## 貴方の付けた商品名

### 他で同じ名前がありませんか？

貴方が作った商品に、一生懸命考え、又はひらめいた名前を付ける、それが商標です。

商標は自分の商品と他人の商品とを識別する目印にもなり、消費者が数ある商品の中から貴方の商品を選んでくれる為には、パッケージや中身はもちろんですが、この商品名が重要なポイントになっているはず。

しかし、ちょっと待ってください。その商品名を既に「商標登録」した人（事業所）がいたらどうなるでしょう。

せっかくいい名前を付けた貴方の商品を別の名前で販売しなくてはならない場合や、数年経ってか

③また買ってもらう（顧客名簿の活用。さらに次の手を常に考える）  
以上のことを組織的にできると完成

○客が満足する商品づくり

①ものまねはやめる

②商品そのものが良い

③適正な価格

④地域性・素朴さのアピール

（十月五日、ユートリーで八戸商

工会議所と共催で開催した地域活性化セミナーから）

ら損害賠償を請求されることになりかねないのです。したがって、商品に名前を付ける場合、事前に他の商品状況を調査することが大切です。これを、「商標登録の検索」といいます。

さらに、その名前が他に無かつたからといって喜んではいられません。「商標登録」して使用する権利と、他人に使用させない保護を受けなければならないと思います。

なお、当センターでは、商標登録の検索が十二月から出来るようになりましたので大いに利用してください。（実費代徴収）

## 青森県産品、八戸・南部圏 特産品合同見本市を開催

八月二十四日。ユートリーで首都圏、東北・北海道の百貨店のバイヤーを招待して見本市を開催。  
三越、東武、松坂屋、松尾、横浜高島屋、さいか屋、京王等三十一社、約五十名のバイヤーに県内の特産品を売り込んだ。



特産品を売り込んだ県内六十四社の企業のうち三十七社から実績のアンケート調査の回答があり、その内容は、契約実績があったが十社。今後、契約が可能としている企業が八社あった。

回答率は低くかったものの実績が残ったことで主催者側は、ほっとしている。

今回は、青森県物産協会、青森県庁消費生活協同組合、八戸市物産協会、ユートリーの共催で実施。



# 新商品紹介

※ このコーナーでは、ユートリーの展示即売場に納品している商品の中から最近発売された新商品の紹介をします。

## 「ごま畑」

八枚入 一、〇〇〇円  
十三枚入 一、五〇〇円

八戸市・丸美屋製菓  
たつぷりのごまとアーモンドをクッキー生地に加え、一枚一枚ていねいに焼き上げた新しいタイプの洋風おせんべいです。

一枚ずつの手焼きのため、形はふぞろいですが、それもまた味があります。何度となく試作を重ね



て決めたというごまとアーモンドの微妙な割合が、クッキーの持つモダンな感覚と南部せんべいの持つ素朴な味わいを見事に調和しています。

サクツとした歯ざわり、そして香ばしい風味とまろやかな口あたりが、コーヒーマティー・紅茶・日本茶にも良く合います。一度お試しを！

## 八戸の伝統工芸品手作り 八幡馬の実演会

八戸の代表的民芸品の一つ八幡馬。

この手作り八幡馬の紹介と後継者育成を目的として、次の日程で、実演会をユートリーで開催しております。

また、希望者には、実演場で手作り八幡馬の指導もしますので、この期間に体験してみませんか。



(1) 期間 一月十四日、

三月二十六日までの

毎週土・日曜日

午前十時～午後三時

ユートリー

一階即売場前ロビー

(3) 実演者 大久保直次郎氏

問合先 ユートリー事務局

※ 手作り八幡馬の体験の場合には、材料費を実費徴収いたします。



## 開館時間のお知らせ

○ 営業時間

展示即売場

午前九時～午後六時

貸会議室等

午前九時～午後九時

○ 休館日

毎月第二月曜日、一月一日

十二月三十一日

## 編集後記

昨年暮れの三陸はるか沖地震の際には、皆様から多数のお見舞いのお電話等をいただきました。本当に、ありがとうございます。

さて、このたび情報誌第1号を発行することが出来ました。第1号ということで、センターの事業を中心に紹介してみました。

記事の中で八幡馬の実演を扱ったコーナーがありました。八幡馬というのは、日本三大駒の一つなんです。

知っていましたか？  
あと二つは、宮城県の木下駒と福島県の三春駒。

八戸の八幡馬もよろしく。  
次号は、三月の予定です。  
ご意見・ご感想がありましたら、事務局までご連絡を！

発行



財団法人

八戸地域地場産業振興センター

〒039-111

青森県八戸市一番町一丁目

九番二十二号

電話〇一七八―二七―二二二七